

# 清閑亭より、渡辺です。

## 第六回「鈍翁がいた小田原」



おこたの中からまち歩き！

なんと今回は、歩かなくてもいいのです。「寒くて外に出たくない」、そんなあなたのご要望にも優しく応える渡辺です。こたつの上でみかんむきむき紙面を眺める、その利点を最大限に活かし、今回はある人物が街の

あちこちに残した足跡を辿りつつ、小田原の魅力を見直し、その人物とは、小田原近代史で私が最も紹介したい人。今に換算すると月収20億円という近代財界の首領(ドン)。その名も鈍翁(Donno)。本名は益田孝。

三井財閥を組織し、日本の資本主義を発達させた中心人物。今も小田原に残る鈍翁の記憶をたどりながら、魅力の一端を感じていただければと思います。いざ本丸へ挑まん、といった心境です。

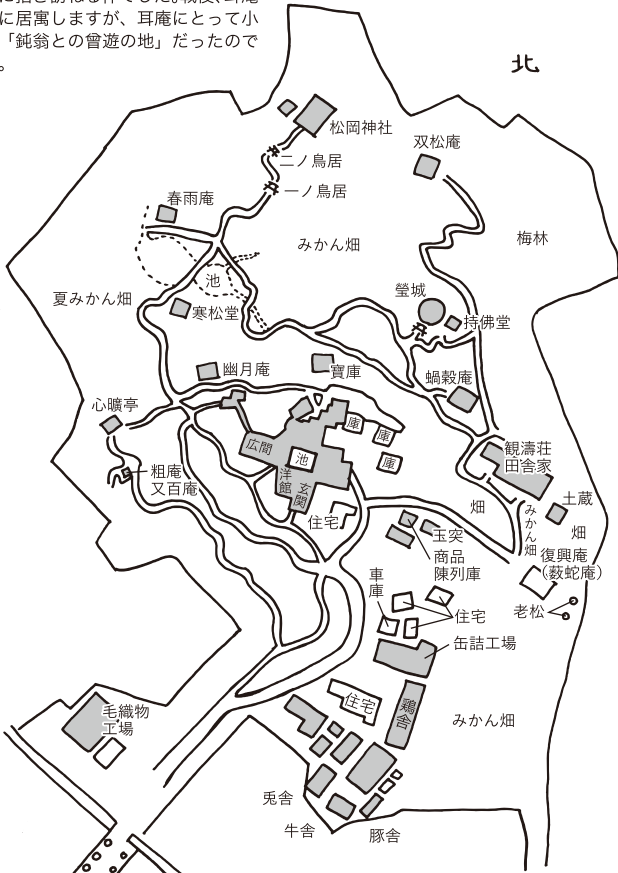
### 渡辺 剛治

「NPO法人小田原まちづくり応援団の一員として、2010年より本格的に小田原の勉強をする。1975年12月生まれの甘えん坊将軍。クラクラする頭をひねりながらガイドに励み、まち歩きの魅力にゾクゾク中。いつもは「清閑亭」にて出勤命令を持ちつつ、美味しいお茶をいれたり草刈りをしたりしています。

文：渡辺剛治  
NPO法人小田原まちづくり応援団  
編集：編集部コメント

### 〈掃雲台(そううんだい) MAP①〉

丘の上の樹齢800年の老松が雲を掃くようだと名付けた別邸。板橋に山一つといった広大な敷地には、9つの茶室、5つの蔵、4棟の使用人住宅、神社や仏堂があり、鈍翁が腰を据えるまで10年近く造営が続けられました。敷地は西端で山縣有朋別邸古稀庵と接し、山縣とのひそかな交通が可能でした。現在その痕跡はまったくありませんが、松永記念館に点景物、沓脱ぎ石などが移設されています。



〈鈍翁と松永耳庵〉松永記念館の主・松永耳庵を茶の世界に招き入れたのも、鈍翁でした。ふたりの親交は鈍翁入寂までの3年余りでしたが、一ト月と措かず互いの茶会に招き訪ねる仲でした。戦後、耳庵は板橋に居りますが、耳庵にとって小田原は「鈍翁との曾遊の地」だったのでしよう。

### 鈍翁 益田孝 (1848-1938)

三井物産の創始者・益田孝は「利休以来の大茶人」でもあり、国宝を含む膨大な美術品の収集家でした。1906年板橋に約2万5千坪の土地を所有し別邸「掃雲台」を造営。敷地には大小の茶室のほか、みかん畑や牧場、缶詰・毛織物工場などが点在し、鈍翁は1914年から晩年をここで過ごしました。(写真は「五十嵐写真館」五十嵐登氏撮影、掃雲台広間にて)



柳瀬山荘の茶室「春草庵」にて語らう松永耳庵(左)と益田鈍翁。



九月茶事費動定の内訳は、魚青物乾物、かつお節、そば粉、蒲焼きなどが記されている。

〈小田原暮らしを支えた多くのお店・人々〉上の表は「昭和4年9月益田家所茶事贈帳」です。松坂屋、鈴松、籠常、柏又など、今も残るお店でのお買い物が記録されています。



〈鈍翁 in 西海子 MAP②〉掃雲台に仕えた杉山伝吉・いの夫妻を祖父母にもつご主人が、鈍翁遺品などを多数紹介するギャラリー。季節ごとに貴重な鈍翁ゆかりの品が展示され、お茶もいただくことができます。「益田しじみ」のお話もうかがえます。



〈鈍翁の書 in 清閑亭 MAP③〉「鈍翁 in 西海子」さんからお借りしている書、鈍翁お気に入りのフレーズです。小田原での別荘暮らしの醍醐味が、天海僧正にならって「正直、粗食、日湯、だら里、そして屁をこく」と記されています。



〈籠清 看板「加古清」MAP④〉掃雲台で催される茶懐石として、鈍翁がしばしば使ったのが籠清のしんじょでした。高橋篤庵の『大正茶道記』には、特に大正14年の茶会で蒲鉾としんじょが頻発します。



『小田原喜(おだまぎ)』は、籠清さんの定番商品のしんじょです。かまぼこよりも柔らかい食感で、つるりと爽やか。(各税込334円)

柏又に飾られた鈍翁の書「月も日もおのがすむ世もまるければ我が心もかたがたに書かれています。」



〈柏又 MAP⑤〉茶懐石だけでなく、1年を通して客人をもてなす逸品として鈍翁が好んだのが柏又の鯉でした。

ということで今回は、鈍翁にまつわるこたつでまち歩きとしました。春が来たら、鈍翁の足跡をたどりつつお茶など楽しんでみてはいかがでしょうか。清閑亭より、渡辺でした。



### 広告



丸登食堂 鴨宮北口商店街  
安くて、うまくて、量多め  
これぞ大衆食堂プレミアム



創業80年以上！日本製のジャパンプレミアムが揃う  
高橋はきもの店 鴨宮商栄会

お礼のごあいさつ  
瀬戸 茂さん  
プレミアム商品券でのご利用ありがとうございました。これからも、鴨宮北口商店街をよろしくお願いいたします。



定食、中華、天ぷら、フライ、麺、刺身、寿司、カレー、丼ぶりなどなんでもあり。ご主人の瀬戸さんは寿司職人として働いていた経験があるので、お寿司が食べたい時は事前に予約すると、さらにおすすり。



営業 / 11:30~14:00, 15:00~21:30  
不定休  
☎0463-47-2905

お礼のごあいさつ  
高橋 浪江さん  
プレミアム商品券では、靴を買いに来てくださいました。お客様もいらっやいました。ありがとうございました。これからも、よろしくお願いたします。



創業当時はゲタの台から作っていたゲタ屋さん。今でもゲタは販売。鼻緒のすげ替えもやってくれます。最近はおきり少なくなった日本製の傘も扱っている。傘も壊れたら傘屋さんに来て直してくれる。



営業 / 9:00~18:00  
木曜日  
☎0465-47-6222